

別添 令和7年度 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業 実施体制(藤沢市教育委員会)

【課題】

対象児童生徒等が市内に多く散在し、国際教室配置校と非配置校とで支援に差があり、指導体制に対する助言や援助を行う体制づくりが必要。

【実施事業の概要】

- ・国際教室校設置と非設置校の連携や支援導体制の構築。
- ・「特別な教育課程」による日本語指導の実施
- ・日本語指導ができる、又は児童生徒の母語がわかる支援員の派遣の充実。
- ・ICT機器を活用した個に寄り添った支援方法の検討
- ・アセスメントの実施や日本語評価による指導体制の実践・検証
- ・取り組みや成果を市内の小・中学校校長会や校内支援担当者会等で報告。

関係機関等

神奈川県
教育委員会

Me-net
KIF等の
関係機関

藤沢市人権男女
共同平和国際課
【藤沢市日本語指導教室】

連携

藤沢市
教育委員会
教育指導課

日本語指導が必要な児童生徒に対する支援体制

国際教室配置校を拠点とした連携、情報共有

国際教室設置校
藤沢市日本語指導教室
「特別な教育課程」による日本語指導の実施

連携
情報提供

国際教室非設置校

日本語指導員

- ・基礎・基本的な日本語指導(巡回指導)
- ・学校や担当教員への支援、協力(通訳・翻訳等)
- ・年度末、全児童生徒に対して日本語評価の実施

日本語指導コーディネーター

日本語指導の開始・終了のためのアセスメント実施
藤沢市日本語指導教室における初期指導の実施
各校への支援・協力

派遣

情報共有